



令和5年10月30日 第2108回例会

2023~2024年度 国際ロータリー会長 ゴードンR・マッキナリー

●会 長 高岡 和也 ●副会長 下村 哲也 ●幹 事 梶 浩多郎 ●編 集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

【四つのテスト】 言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか



**スマイル・ボックス**

●鈴木 健君 / 先週、結婚お祝いをいただき、ありがとうございました。今月29日に29回目を迎えることができそうです。折角ですので肉でも食べに行こうと思います。

10月23日のスマイル 小計 2,000円 2023~2024年度 累計 270,375円

ロータリーソング:「我等の生業」  
 職業宣言唱和: 5・6  
 食事:「百万ドル食事」・「本日の演奏」  
 会長の時間: 会長 高岡 和也君  
 会務報告: 幹事 梶 浩多郎君  
 1) 本日の配布  
 ①週報  
 2) 宮崎アカデミー RC よりアフガニスタンの現状パート2  
 コロキウム開催のご案内 (案内掲示)  
 日時: 10月29日 (日) 13:00 ~ 15:30  
 会場: 宮崎大学創立330 記念交流会館  
 講演者: ナズィール・アーメッドシディキ氏  
 参加希望の方は、10月27日 (金) までに事務局までご連絡ください。  
 3) 10月26日 (木) ラウンドテーブル 18:30 ~  
 於: グランセレッツ鹿児島 津貫  
 担当: 米山奨学委員会

第2107回例会記録 10月23日(月)

出席者⇒梶幹事、浦島、川路、鈴木、竹添、田實、田中、平山、福山、本坊、松元、丸山、宮脇、吉田 会員  
 4) 次週 10/30 (月) 例会プログラム  
 レディースデー例会「ミニコンサート」  
 ゲスト: 入木 慶子様、宮永 彩乃様  
 出席報告: 出席委員会  
 スマイルボックス: 親睦委員会  
 クラブ協議会「地区大会報告」  
 発表者: 田中 和俊君、浦島 優子君、逆瀬川 勇君、日当瀬 賢君

次回例会 令和5年11月6日(月)

国際奉仕フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2107回例会	50名	33名	68.75%
前々回(10月2日)の補正	50名	39名	85.71%

本日のプログラム レディースデー例会

10月 地域社会の経済発展月間 / 米山月間

前回例会出席率 68.75%

会長の時間

高岡 和也



テーマ:「地区大会報告」について

今年度の地区大会は10/13金曜～10/15日曜の3日間でシーガイアコンベンションセンターにて開催されました。我が中央クラブからは16名の会員に参加頂きました。2日目の第一本会議と3日目の第二本会議に参加しました。参加者は海江田PG、高岡、梶、梶、前迫、田中、橋元、下村、宮脇、中間、松元、日当瀬、宮里、浦島、福山、逆瀬川になります。参加頂いた皆様は本当にご苦労様でした。

当初は貸し切りバスを出す予定でしたが、鹿児島国体により手配ができませんでしたので、今回は車数台で乗り合いをして参加いたしました。基本的には安全面も考えて貸し切りバスでいきたいと思うので、参加人数が少ないと割高になるので多くの方に参加をお願いしたいと思います。

地区大会は、その年度のガバナーが所属しているクラブの地域で開催され、所属クラブがホストクラブとなります。今年度の池ノ上ガバナーは宮崎ロータリークラブの所属のため、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターにて開催され、ホストクラブは同クラブでした。110名の会員数をほこる2730地区最大クラブですから出迎えから見送りなど、本当に素晴らしいおもてなしと設えでした。

さて地区大会は、地区の会員全員で今年度のRI会長の考えやテーマや方針を共有し、続いて地区ガバナーのテーマや方針など学び、地区のロータリアンが結束をする会だと思えます。

地区大会に参加すれば自然とロータリークラブの知識が深まりロータリアン同士の親睦や絆が深まり、帰ったあとのロータリーライフや自分の人生に生かすことができます。

今年度のRI会長、ゴードンR・マッキナリー氏のテーマは「Create Hope in the world: 世界に希望を生み出そう」です。そして池ノ上ガバナーの地区テ

マで「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」です。世の中、紛争や災害などが絶えませんが、希望をもって皆で支えあいながら力強く前に進みましょう！ということだと自分なりに解釈しています。

RI会長は地区大会にはさすがに出来ないので、国際ロータリー会長代理として、中川基成氏(あすかロータリークラブ: 奈良県)が代わって挨拶をされました。

第一本会議で印象に残っているのは柔道家の井上康生氏による記念講演です。「私の柔道哲学」というテーマで講演されました。ロンドン五輪のときに日本柔道が男子はゼロで全体でも金が1つしかとれずどん底のときに、33歳で日本代表監督に就任され前回のリオオリンピックで全階級メダル獲得し歴代最多7個の金メダルを獲得するまで軌跡をお話されました。準備周到にどこまでできるかが一流と二流の違いというお話にはなるほどと思いました。

大会最終日(2日目)はRI会長代理の中川氏と池ノ上ガバナーとローターアクト地区代表の谷次氏によるトークセッションと米山奨学生の挨拶と各種表彰がありました。我が中央クラブは、米山記念奨学会寄付(会員一人当寄付額)の部門で、第3位に入りました。

地区大会に参加するとロータリーの知識を学び、会員交流で親睦が深まり、開催地域の美味しい料理が堪能でき素晴らしいおもてなしも受けられます。想像よりも楽しく過ごせることは間違いありません。おそらく今回参加された方々は、皆、行ってよかったと思って頂いてるのではないかとおもいます。来年は、鹿児島県の順番で、加治木RCがホストクラブですが、コホストとして国分・霧島・国分中央・始良並びに2730地区Eクラブが加わり鹿児島県中部連合にて開催されます。絶対に面白い地区大会になると思うので、来年はより多くの方に参加して頂きたいと思えます。

## クラブ協議会「地区大会報告」

田中 和俊



池ノ上ガバナー年度の地区大会に出席して来ましたので、ご報告いたします。今回の地区大会は10月13日（金）～15日（日）宮崎シーガイアコンベンションセンターにて開催されました。当クラブからは海江田パストガバナーは前日から宮崎入りされており、他の15名のメンバーは、当日11時30分からの第一本会議に間に合うように会場に到着しました。

来賓あいさつで印象に残ったのは、河野宮崎県知事と清山宮崎市長の挨拶でした。どちらもユーモアがあり聞いていて退屈しません。特に知事は出張のためご欠席でしたが、県庁の方の代理出席の代読ではなく、ビデオメッセージでの熱いご挨拶でした。失礼ながらここはわが県は負けているなと思いました。またガバナーノミニエが延岡中央ロータリークラブの桑原英一さんに決まったとの報告もありました。介護やサッカーチーム運営会社の代表取締役とのことでした。記念講演は柔道家でシドニーオリンピック金メダリストの井上康生さんでした。「私の柔道哲学」と題して話されましたが、主に日本柔道を強くすることにおける指導者としての立場のお話で、現在は様々なデータの基に選手たちに指導をしているようで、審判の傾向もデータ化されているのには驚きました。終始まじめな話で全く冗談を言わないことが印象に残り、できれば現役時代のお話が聞きたかったなと思いました。実は私はシェラトングランドオーシャンリゾートに宿泊するのは初めてでしたが、築年数は古いものとてもいいホテルでロータリーのおかげで格安で宿泊できることに感謝しました。懇親会もものすごい人数で大変盛り上がりしました。特に「手に手繋いで」広い会場と参加者の人数で圧巻でした。中央クラブの二次会には、山ノ内パストガバナーと東京赤坂ロータリークラブの熊本誠司パストガバナーも参加していただき、大変盛り上がりしました。

翌日の第2本会議では池之上ガバナーと奈良県のあすかロータリークラブの中川基成RI会長代理と第2730地区ロータリークラブ代表の宮崎ロータリークラブの谷次一研（タニツグカズト）さんの3人のトークセッションでした。内容は要約すると、「国際ロータリーはロータリー会員の数にロータリークラブも含めていて、今はロータリークラブもロータリークラブも同列になっていると。機会均等という意味では青少年にも（女性にも）リーダーシップを取る機

会を与えるべきだ。グローバル補助金や地区補助金もロータリークラブからも申請できるようになった。ロータリークラブをエレベーター（価値を高める）していく。ゴードン・マッキナリー会長は「ロータリークラブはすでにリーダーシップを獲得しました」とおっしゃっていたとのこと。ロータリークラブの活動が活発化してきたことで、ポリオ・ファンドレージング（寄付集め）も変わってきた。若い人たちの集め方は様々でありSNSを使っても容易く成果をあげている。みなさんスマホを使いこなしているしロータリーのことも情報発信している。インスタを活用している。ゴードン・マッキナリー会長もコロナによってWEBで世界が繋がったとおっしゃっていた。ロータリークラブ活動をしていると年齢が近いと心が通いやすいと感じた。ロータリークラブは会社以外の同年代の方々と交流できる。池ノ上ガバナーも財団奨学生として留学した経験がとても大切なものとなった。27歳で留学したがその当時日本とアメリカの医療とのギャップがあった。未熟児や障害を持って生まれた赤ちゃんについては、日本はしかたないだったがアメリカはなんとかしようという意識の違いがあった。それには医療機器の整備や制度が障壁であった。五つ子ちゃんきっかけで注目され、発言できるようになった。やはり改革は言い続けることが大切であり、そのうちチャンスがくる。また世代間の繋がりも大事なものである。中川会長代理の話「松下幸之助さんはロータリーの例会に行くときにはちょっと勉強に行ってくるわと言って出かけた。そして他のクラブに行ったときは名刺を一人一人配る。組織はチャレンジをしないと継続はできない。人頭分担金はロータリアンは一人80ドルであり、アクトは一人10ドルである。アクトに何を求めるか。これまでアクトはロータリーの真似事をしてきた。それは求めるのは遅れている。ロータリーがしていることを求めてはいけぬ。アクトのやることを尊重する。それができるクラブはアクトを増やしている。よくない例はロータリアンが前のめり主体性のない活動である。」ということでした。

現在、当クラブは鹿児島大学アカデミーロータリークラブとロータリークラブを作ろうと苦心していますが、このお話はとても参考になりました。

表彰式で米山奨学会寄付優秀クラブ（会員一人当たり寄付額の部）で3位表彰をいただきました。

二日間、鹿児島中央ロータリークラブのメンバーと過ごしましたが、大人の遠足みたいで本当に楽しかったです。次年度は霧島市ホテル京セラ、次々年度は宮崎県延岡市です。今回はバスのチャーターはかな

いませんでしたが、次からはぜひ貸し切りバスでみんなで行きたいと思います。

浦島 優子



先日人生初の地区大会に参加させていただきました。

まず最初に驚いたのは参加人数の多さでした。会場にただで会員の皆様の高さを感じることができました。また日本の中でしか活動してない私にとって、国際色豊かな方々の登壇や発表は新鮮で楽しいひと時でした。

ロータリーの今年のテーマは「平和」「希望」「明るさ」を求めること、継続と変化、そして繰り返し述べられた「メンタルヘルスへの取り組み」でした。

ゴードン R・マッキナリー会長が弟を失った経験から「もっと積極的に話を聞く勇気があれば」と後悔したエピソードを元に、何でも話す仲間がいる居心地のいいクラブを目指す重要性を知りました。

記念講演の井上康生氏の話も興味深く「究極の目的は柔道修業により己を完成し世に補益すること」の言葉に感銘を受けました。

しかし何より楽しかったのは、宿泊先のシーガイアホテルが最高だったこと、帰りを気にせずお酒を飲み、皆様と笑い合い、時間を共有できたことでした！また来年も参加したいと思います。ありがとうございました。

日当瀬 賢



自身初参加。約1400人の参加で人が多く、最初はどこに行ったらいいかも分からなかったが、皆様のLINEでの案内のおかげで、スムーズに合流できた。

ロータリーの事をいろいろと知ろうと思っての参加だったが、地区大会が始まり、逆に知らない単語が多く意味不明な状態になった。これまでは分からないことが何なのか分からないう状態だったが、携帯でロータリー用語を検索しながら大会に参加し、分からないことが何なのかを少し把握できるレベルにはなれたと思う。

様々な活動や報告等を耳にし、スケールの大きさを感じた。次第に、世界基準で自分のスケールも大きくしたいと感じるようになった。

中でも興味深く聞いたのが、井上康生氏の記念講演。スポーツの持っている価値観やテクノロジーの活用

についての話だった。

一流と触れ合うことによる影響の話や、一人では乗り越えられないものを超えるために友情や調和が必要という話等があった。

一番共感したのが、弊社内でも最近頻りに口にしている主体性のくだり。

・成長にあたり、外発的なものでは限界があり、内発的な要素が重要。

・組織も個人も意識改革にあたり、自己マネジメント能力が欠かせない。自己分析をし、自分を知ること、どうしたら目標達成できるか計画を立てることができる。

・自分自身を知り、自分を大切にできると人にも優しくできる。

主体性を高めるためには、自分を知り、人間力を向上させることがポイントと感じた。

また、一流と二流の差は準備力にあるとのこと。単なる準備で終わらず、自己肯定力と防衛的悲観力を持って異常なまでの準備が人を一流にさせると学んだ。

その後の懇親会や二次会、就寝前の温泉も含め、鹿児島中央ロータリークラブの絆や他クラブとの繋がりを身をもって味わわせていただいた有意義な時間だった。

来年の加治木での開催も楽しみだ。

ありがとうございました。

